プレロードジャッキ

プレロードジャッキ工法

プレロードジャッキ集中管理方式

切梁プレロード工法とは、軟弱地盤地帯や市街地に於ける根切り工事を安全かつ合理的に行うために切梁架設後、次段階の根切りに先立って設計軸力に近い軸力を油圧ジャッキで切梁に導入し、山留め壁を外側へ押し込んだ後根切りに入ると云う工法です。こうする事によって、根切りによって発生する土圧に対して山留めの架構の安全性を予め確かめ、山留め架構全体の変形を防止し、周辺地盤沈下を阻止する事が可能となります。

プレロードジャッキ

項目		形式	NOP-050	NOP-080	NOP-120	NOP-200	NOP-300
適用H鋼サイズ			250H	300H	350H	400H	500H
耐力		kN	1000	2000	3000	4000	6000
常用出力		kN	500	800	1200	2000	3000
最大出力		kN	750	1100	1700	3100	4300
受圧面積		cm^2	73.6	108.0	171.8	309.2	428.8
最小寸法		mm	498	475	510	550	700
ストローク		mm	180	100	130	130	130
最大油量		ℓ	1.4	1.1	2.3	4.0	5.6
ベース板厚		mm	19	19	25	28	50
ベース板穴ピッチ	上部側	mm	100×150 150×150	150×150 150×200 200×200	150×150 150×200 200×200	200×200 270×300	300×300 300×350
	下部側	mm	100×150 150×150	150×150 150×200 200×200	150×200 200×200	250×250 270×300	300×300 300×350
質量		kg	75	110	150	300	660

※常用出力以上の加圧は弊社職員にて施工致します。

荷重計付プレロードジャッキ

項目		形式	NOPG-100	NOPG-200	NOPG-300	NOPG-400	NOPG-600
適用H鋼サイズ			250H	300H	350H	400H	500H
耐力		kN	1000	2000	3000	4000	6000
常用出力		kN	500	800	1200	2000	3000
最大出力		kN	750	1100	1700	3100	4300
受圧面積		cm^2	73.6	108.0	171.8	309.2	428.8
最小寸法		mm	550	520	570	600	840
ストローク		mm	180	100	130	130	130
最大油量		ℓ	1.4	1.1	2.3	4.0	5.6
荷重計能力		kN	1000	2000	2500	3500	6000
荷重計受圧面積		cm^2	132.7	188.7	254.5	380.1	779.3
ベース板厚		mm	19	19	25	28	50
ベース板穴ピッチ	上部側	mm	150×150	150×200 200×200	200×200	250×250 270×300	300×350
	下部側	mm	100×150 150×150	150×150 150×200 200×200	150×200 200×200	250×250 270×300	300×300 300×350
質量		kg	90	125	200	360	860

※常用出力以上の加圧は弊社職員にて施工致します。